

学校運営協議会だより

文責 CS事務局

回
覧

学校運営協議会だよりNo. 21では学校運営協議会の1年間をふりかえり、今年計画した事業の様子を紹介したいと思います。

1 学校運営協議会の会議(全体会・部会)を年4回実施しました。

回	日 時	議 題
第1回	5月21日(水曜日) 18:30~20:00	目指す子どもの姿 活動計画
第2回	7月23日(水曜日) 18:30~19:30	こども会議について
第3回 〃	10月24日(金) 小学校 13:25~ 10月14日(火) 中学校 13:05~	学校関係者評価 授業参観
第4回	2月10日(火曜日) 18:00~	学校関係者評価 成果と課題

各位の協力により、各会議を予定通り年4回(昨年より1回増)を実施することができました。また、第3回目の部会は、各学校を会場に実施し、授業を参観することができました。

写真は第1回学校運営協議会の様子です。

京極町学校運営協議会委員に15名が委嘱されました。(名簿は敬称略)

氏 名	関係機関	氏 名	関係機関
室井 弘司	京極中学校PTA	深澤 正之	京極町文化協会
駒田 拓朗	京極町社会福祉協議会	西尾 健司	京極小学校PTA
加藤 美保	京極町商工会	吉川 由紀子	京極町民生委員児童委員
小柳 政義	京極町スポーツ協会	岡本 美弥子	識見者(元京極保育園園長)
後藤田高志	京極小学校PTA	三条 貴子	京極町社会福祉協議会
石川 周亨	京極中学校長	高橋いづみ	京極中学校PTA
岡村 真哉	京極中学校教頭	島 朋朗	京極小学校長
		中谷 かほり	京極小学校教頭

第1回小学校・中学校別部会の様子



2 人材バンク作成 (京極町教育サポーターの募集)を継続して取り組みました。

昨年実施した、人材バンクの作成は、学校の教育(体験活動、実技指導、体育の補助、職場体験、登下校の見守り部活動・クラブ活動の補助)などの活動の充実を図ることを目的に行いましたが、今年から学校教育に限らず教育委員会主催事業にも協力いただけるよう実施要項を「京極町教育サポーター募集要項」として整備し、全町に回覧で周知をさせていただきました。(QRコードにて登録できます。)



3 広報活動を継続しました。

学校運営協議会だよりを月2回発行しました。(1月からは月1回)

これまで、京極町が目指す教育・学校関係者評価・全国体力運動能力テスト・京極町サポーター募集・小中一貫教育・ウオスクレンジャーこども会議・デジタル教科書・高校入試・教科書採択・SDGS・親子都市丸亀などについて紹介させていただきました。学校運営協議会だよりは回覧版の他、町HPにて掲載させていただいています。



4 総合的な学習の時間への支援（職場訪問・体験可能事業所リスト提供）継続しました。

京極町教育委員会は、町内小中学校教育活動の充実を図るため、総合的な学習の時間に実施している職場訪問・職場体験への支援を行っています。支援内容は、教育委員会による職場訪問・体験可能事業所リスト作成と学校への提供です。本年もCS事務局により事業所リスト作成及び学校へのリストの提供を行いました。



本年度も各事業所のご理解のもと職場訪問・体験可能事業所リストの作成を行うことができました。

リスト作成に協力いただきました各事業者様に深くお礼申し上げます。中学校職場訪問・体験学習は下記の通り無事終了しております。

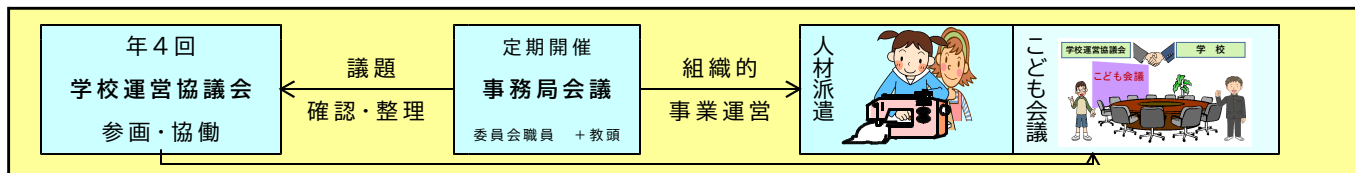
	学年	R7実施日	実施場所
職場体験	3	9月24日25日	町内事業所
職場訪問	2	11月12日	町内事業所

5 事務局会議に学校代表として教頭が参加し、協働体制が整いました。

事務局会議は、本年度から各校の教頭を加えて定期的に行いました。これは、定例の学校運営協議会実施にあたり、事前に議題を各校と確認・整理することを目的としています。

この新しい取組により、定例の学校運営協議会の議事は昨年度以上にスムーズに進行することができました。

また、京極町学校運営協議会の独自事業は、各学校への人材（ボランティア）派遣がありましたが、次年度よりこれに加えて新事業「こども会議」を実施します。こうした事業を組織的に進める上で事務局会議は、その機能を発揮することが期待されます。



6 学校支援ボランティアを学校に派遣しました。

昨年度より、学校が希望する学習等の支援者（ボランティア）の発掘と派遣を、運営協議会の事業として各委員が行っています。

今年は、昨年発掘と派遣をした、中学校技術（木工作業）と中学校家庭科（ミシン）に加え、中学校2年家庭科（和装＝ゆかたの着付）にボランティアを派遣することができました。ボランティアとして協力いただいた皆様、ご紹介いただきました関係者の皆様に、当該の学校共々お礼申し上げます。



7 「こども会議」実施要項を作成し、その目的を確認しました。

目的

【こども会議の目的】
京極小学校・中学校の児童会、生徒会の代表による「こども会議」を開催し、児童・生徒がよりよい町づくり（ふるさと）のために協働して取り組むことにより、社会に貢献することの意義を学ぶ。また、児童・生徒が自らの課題を把握し、その解決に取り組むことにより、主体的に行動する態度を育てる。

ふるさに貢献

自らの課題解決

こども会議

学校運営協議会熟議・事務局会議で検討を重ねた結果、「こども会議」の目的、ねらいを確認することができました。

■ねらい

小学校・中学校が、育てる子ども像を共有し、児童生徒主体による学校生活改善の取組やふるさとのために小中連携した児童会・生徒会活動（特別活動）に取り組む。

□次期学習指導要領の論点/特別活動

児童生徒主体のルール形成や学校生活改善、行事の創造等の明確化（みんなが学びやすいルールや環境の構築含む）
9月5日中教審

2月10日（水）第4回京極町学校運営協議会にて令和7年度事業報告を行い、委員各位に承認をいただきました。